

# 新生「八重瀬町」

平成18年1月1日、東風平町と具志頭村が合併し

「八重瀬町」として生まれ変わりました。

東風平町と具志頭村は明治41年(西暦1908年)の

沖縄県島嶼町村制度に基づき「東風平村」「具志頭村」として誕生し、

幾多の歴史を刻み発展してきました。

八重瀬町誕生にともない、両町村は長い歴史に幕を閉じ、

これから「八重瀬町」として新たな歴史を刻んでいきます。

「大地の活力とうまんちゅの魂が創り出す自然共生の清らまち」を将来像として、

新生「八重瀬町」をみんなの手で創っていきましょう！

**新生「八重瀬町」の命名について**

合併協議会に「新町名称候補補選定委員会」を設置し、平成16年12月10日～翌年1月10日の期間で一般公募を行いました。

県内外から662点の応募があり、27点は期間外などの理由から無効となり、名称候補総数635点(444種類)が集まりました。

多数の応募から選ばれた「八重瀬町」の選定理由として

- 一、両町村にまたがり続く八重瀬岳は、島尻のシンボル的な存在であり、地理的に分かりやすい。
- 一、遺跡・史跡・自然・桜など、地域のアピール力がある。
- 一、互いに身近な存在であり、知名度もあり、響きも良い。

ことを理由として選ばれました。八重瀬の「八重」はいくつにも重なっていることを意味し、「八」は末広がりで幸せが幾重にも重なり、両町村の合併は八重に出会う絶好のタイミングでした。八重瀬には、幾重にも重なった人々の繁栄と末広がりの発展性のある町のイメージがあり、それが八重に続くことが願われています。



新地弘幸さん・愛理さん

「お互いを尊重できる家族でありたい」

「八重瀬町婚姻届第1号」

八重瀬町誕生と同時に婚姻届けをした新地弘幸さんと愛理さん(旧姓山城)は、愛理さんのお父さんの希望で八重瀬町が誕生する日に入籍することを決めており、当日は「独身最後の親孝行だと思ひ、狙ってやってきました。八重瀬町第1号になれてうれししいし、お父さんの願いが叶いほっとします」と愛理さん。「八重瀬町はきれいな名前が気に入っています、記念する日に入籍できてとてもうれしい」と弘幸さん。そんなお二人は「お互いを尊重しあえる家族でありたい」と話してくれました。「お年寄りも元気で安心して暮らせるような町になってほしい」と八重瀬町への思いも話してくれました。ご入籍おめでとうございます。

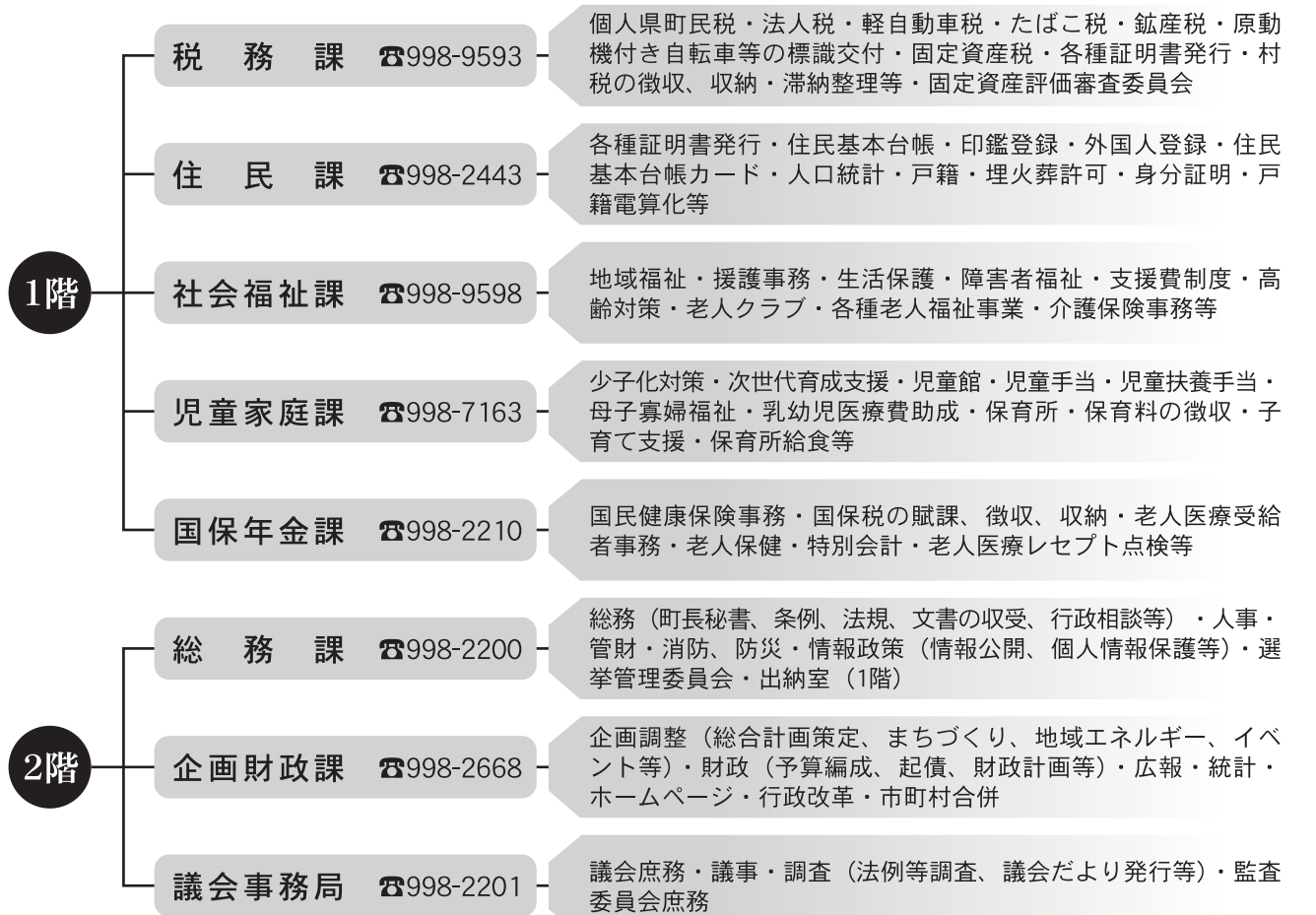


っています～

八重瀬町役場は2つの庁舎と3つの出先機関に分かれて業務が行われます。住民の皆様に必要なサービスを提供できるように、東風平庁舎に住民窓口を設置しております。

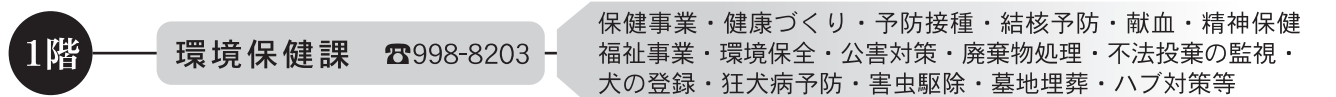
## 本庁 〒901-0592 八重瀬町字具志頭659番地

- 総務課 ●企画財政課 ●住民課 ●税務課 ●社会福祉課 ●児童家庭課 ●国保年金課
- 議会事務局 ●監査委員会 ●選挙管理委員会 ●固定資産評価審査委員会



## 保健センター 〒901-0401 八重瀬町字東風平1318番地の1

- 環境保健課



## 区画整理課 〒901-0405 八重瀬町字伊覇276番地の2

